

地域部活動推進事業 富山県の実践

富山県教育委員会

朝日町舟川べり桜並木 春の四重奏

1

実践地域(朝日町)について

- 中学校は1校のみ、生徒数約220名(R4.4月現在)
- 部活動は運動部9、文化部2
- 令和3年度より、持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できるよう、学校と地域が連携・協力した「地域クラブ活動」として行っている。

実施部活動: 運動部7、文化部1(吹奏楽)

実施日: 平日1~2日、休日1日

※実施していない部活動も準備(指導者の確保)が整い次第、地域クラブ活動として行う予定。



2

地域クラブ活動について

【地域クラブ活動例】月曜日・土曜日がクラブへ移行（活動時間の変更なし）

■ 学校管理

■ クラブ指導者の管理

R2 年度 まで	曜日	日	月	火	水	木	金	土
	活動等	休養日	学校 部活動	休養日	学校 部活動	学校 部活動	学校 部活動	学校 部活動



R3 年度 ～	曜日	日	月	火	水	木	金	土
	活動等	休養日	地域クラ ブ活動	休養日	学校 部活動	学校 部活動	学校 部活動	地域クラ ブ活動

学校部活動の一部を地域クラブ活動へ移行して実施

3

朝日町型部活動コミュニティクラブ

学校部活動



コミュニティクラブ (統括 朝日町体育協会)



富山県教育委員会



朝日町教育委員会

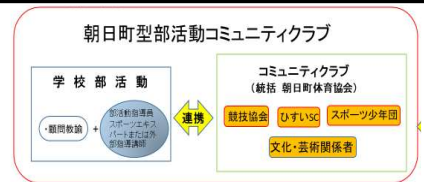
・指導者との協働・連携・協力

・指導者の派遣
・クラブ活動の実施

・実行委員会の運営
・クラブの企画・運営
についての指導・助言

4

コミュニティクラブの目的



- 生徒の多様なニーズに応じたスポーツ、文化・芸術活動の環境の幅広い提供
- 生徒の自主性を尊重した地域クラブ活動
- 部活動指導員やスポーツエキスパートの活用による学校部活動と一貫した指導
- 生徒の体力向上と技能・技術及び競技力の向上
- 学校の働き方改革

5

コミュニティクラブ設立について



- 令和2年7月、「地域と連携した部活動の検討委員会」立ち上げ
コミュニティクラブ設立の提案
関係機関との連携
指導者の確保 など
- 令和3年4月、コミュニティクラブ設立・運営開始

設立までの準備期間は約9か月

6

コミュニティクラブ運営について(R3)

- 年2回、実行委員会を開催
 - 第1回:スケジュール、運営方法等
 - 第2回:結果報告と運営・成果の検証、次年度計画等
- 地域クラブ指導者、学校部活動顧問、町教育委員会で全体調整会議(活動計画打合せ、意見交換等)
- 月1回、学校部活動顧問との連絡調整打合せ

活動により生じた課題等の解決に向けた協議も行っている

7

地域クラブ活動の実施に向けて

- 令和3年3月に、保護者説明会を実施

活動日数や時間はこれまでの学校部活動と変わらない
中学校の部活動の在り方に関する方針を踏まえて行う
などを説明

- 地域クラブに参加する場合は、保護者から参加申込書の提出(保険への加入及び緊急連絡先の使用の同意を得ている)
- クラブごとに緊急連絡網を作成(指導者、顧問、学校、町教育委員会等)

8

クラブ指導者について

- 原則、部活動指導員・スポーツエキスパート・各競技団体の競技協会員
文化部(吹奏楽)は、外部指導員と顧問

従来から学校部活動
に関わっている方々

兼職兼業の許可を受けた上で
指導等に携わる

運動部は部活動指導員・スポーツエキスパート・各競技団体競技協会員

★部活動顧問教諭はクラブ指導者との連絡・調整役を担う。

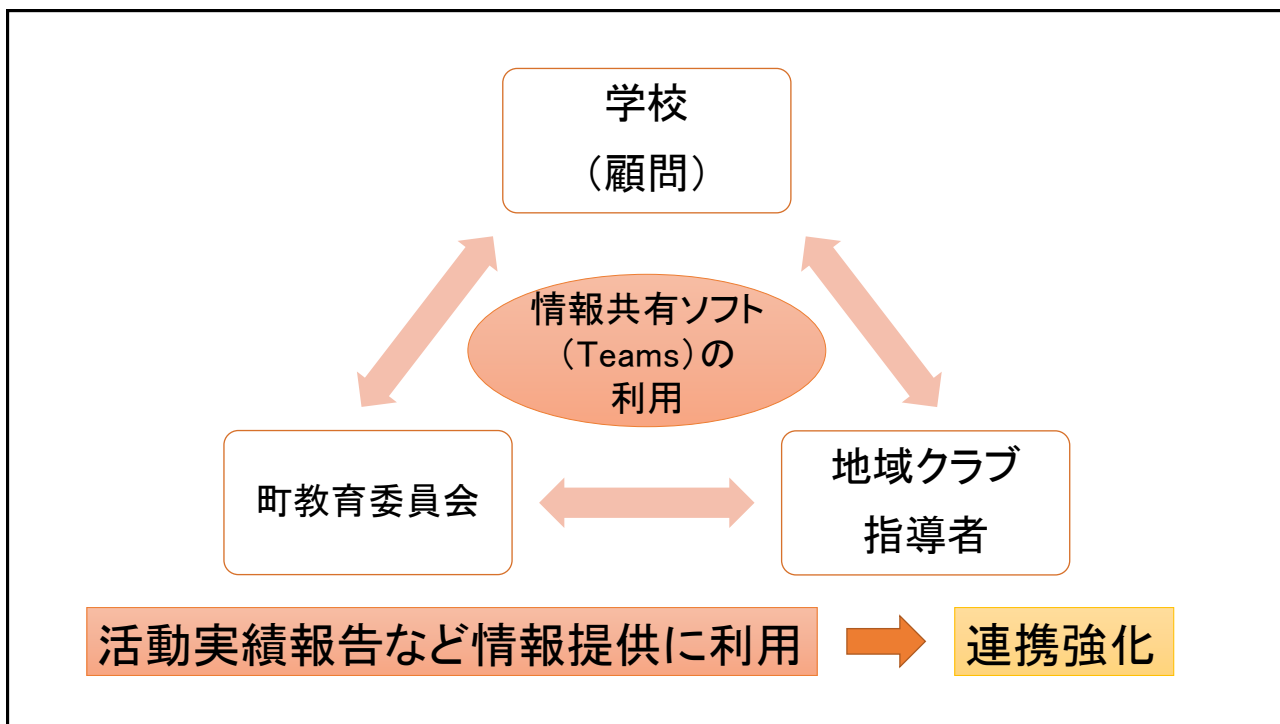
9

クラブ指導者の事務業務

- 活動記録の日誌への記入と学校への報告
- 学校部活動顧問との連絡調整打合せ
- 全体調整会議への出席
- スポーツ保険加入に関する確認
- 生徒、保護者からの意見等を学校と共有
- 指導者としての運営・効果検証に係る提言
- クラブ運営に係る事務業務

学校や関係部署との連携が大切

10



11

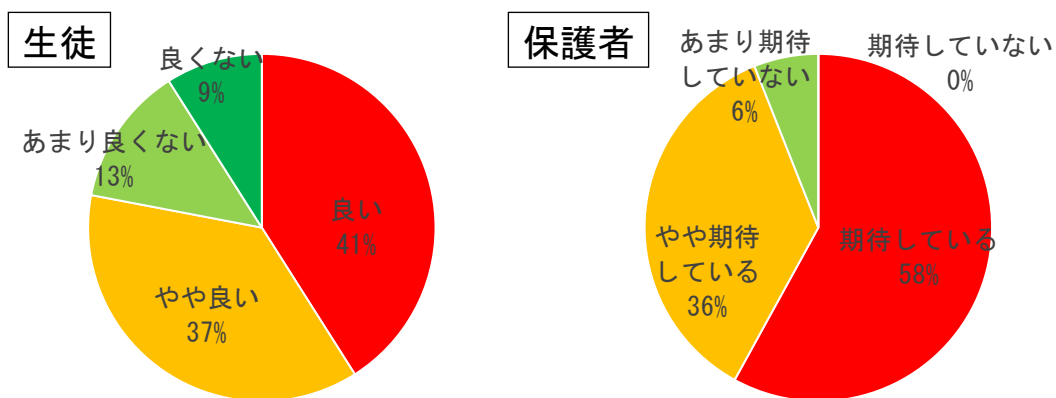


12

実践研究についてのアンケート結果

13

コミュニティクラブへ移行する取組について

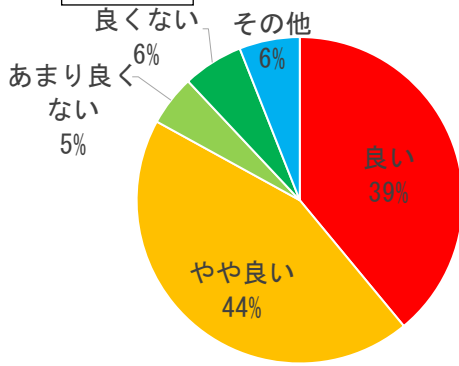


生徒、保護者ともに肯定的な回答の割合が高い

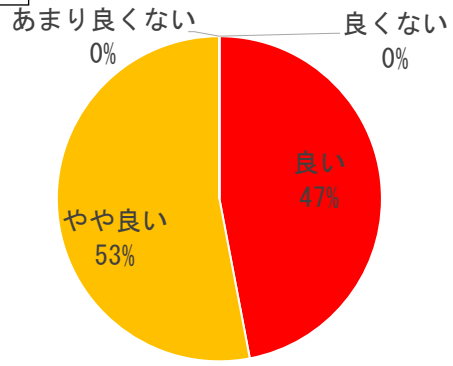
14

コミュニティクラブへ移行する取組について

指導者



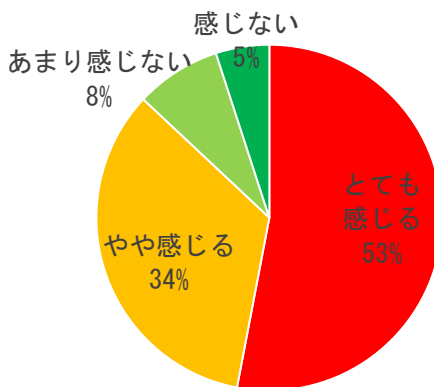
教員



指導者、教員も肯定的な回答の割合が高い

15

体力・技術の向上について(生徒回答)



吹奏楽部は令和3年に
北陸吹奏楽コンクール初出場
日本クラシック音楽コンクール
中学の部(個人)最高賞受賞等

専門的な指導を受けられることが技術向上につながっている



生徒が意欲的に活動できる環境に

16

吹奏楽の活動について(課題)

- 中学校以外での活動は難しい

学校以外での指導となると、
楽器等の運搬が必要で
お金がかかる

施設管理(学校の出入り等)
や楽器の管理までを指導者
にお願いできない

- 2名の指導者が派遣されているが、パート指導が主である。

合奏指導のため、顧問が兼職兼業してクラブ活動も指導している

顧問が休日の指導にも関わらなければならない現状がある

17

吹奏楽の活動について(課題)

- 事業終了後の経費の捻出方法

現在、保険料や外部指導員2名への謝金は実践研究の事業委託費から捻出(R3は年間約35万円)

実践研究終了後の経費の捻出方法が問題



現在、受益者負担の可能性について、
保護者への説明を行っている

18

成果と課題

<成果>

- アンケート結果から、部活動の地域移行に肯定的な意見が多い
- 専門的な指導者から非常に高い質の指導を受けることができ、その指導が部の活動成績につながっている

<課題>

- 吹奏楽部は学校での活動の方が行いやすいため、施設管理などの対応
- 兼職兼業の教員なしでも運営していく方法
- 運営に必要な経費の捻出方法

19

県教育委員会としての取組

1. 地域部活動のあり方検討委員会の実施（運動部・文化部）

第1回 令和3年5月

- ・ 県内の中学校における休日部活動の現状
- ・ 地域部活動移行に向けての問題点
- ・ 地域部活動推進事業（受諾市町）の実践研究内容

第2回 令和3年10月

- ・ 地域部活動推進事業（受諾市町）の実践研究内容
- ・ 部活動の地域移行に必要なことについて

第3回 令和4年2月

- ・ 地域部活動推進事業（受諾市町）の最終報告
- ・ 企業のスポーツ文化活動支援実態調査の結果分析

20

県教育委員会としての取組

2. 地域部活動（文化部）に関する情報交換会の開催

令和4年3月 オンラインで実施

参加者：市町村教育委員会の担当者

（中学校文化部活動、地域部活動等）

内 容：朝日町から実践報告

- ・ 実践概要

- ・ 実践研究を通して明らかになった課題

- ・ 次年度以降の計画

質疑応答及び意見交換

21



ご清聴ありがとうございました

朝日町ヒスイ海岸

22